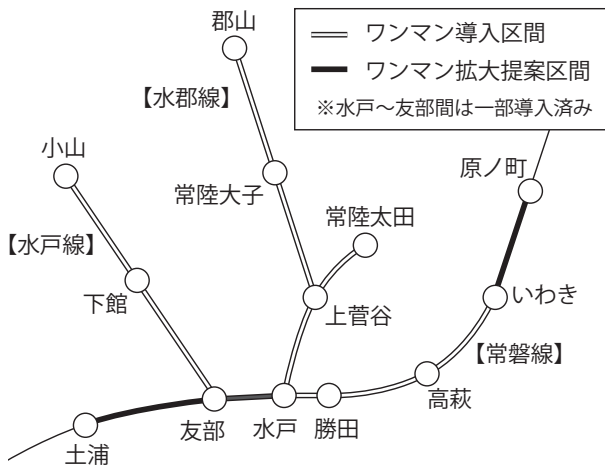


ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

ワンマン拡大に反対の声を

常磐線土浦～水戸・いわき～ 原ノ町間5両ワンマン化提案



対象区間：常磐線 土浦～水戸間、いわき～原ノ町間
 対象列車：常磐線 土浦～水戸間、いわき～原ノ町間のE531系5両編成の全旅客列車
 実施時期：2023年度末

JR水戸支社は4月19日、中編成ワンマン運転の拡大（常磐線土浦～水戸間、いわき～原ノ町間）を提案しました。

矢継ぎ早にワンマン拡大

水戸線の全列車の5両ワンマン化は21年3月、常磐線での導入（水戸～いわき間、5両）は今年3月ダイ改で行われたばかりです。

5両ワンマンでは、各車両に取り付けられたカメラの映像を運転台のモニターで運転士が見て、乗客の乗降を確認します。しかし、担当する運転士からは、「中編成のワンマンは負担が大きい」「とくに夜間や雨天はモ

ニターが見えにくい」と声が上がっています。JR東日本全体でも、路線・線区を限定せずに全面的にワンマン化を拡大する方針が打ち出されています。山手線、京浜東北・根岸線等では長編成ワンマンと自動列車運転装置導入の計画も発表されています。会社はコスト削減・要員削減を優先し、矢継ぎ早にワンマン運転拡大を進めています。

車掌削減・安全破壊を止めよう

乗務中の鉄道の安全は運転士と車掌とで守られています。車掌はホーム上や後方の安全確認、乗客への案内や対応を行い、異常時にはさまざまな連絡や乗客の状況の確認、避難誘導などを担っています。ワンマン化・車掌削減は、運転士一人にすべての負担と責任を押し付け、安全を破壊するものです。

また、例えば内房線・外房線の中編成の範囲でワンマン化された場合、大規模な異動が引き起こされます。それを会社が運転士・車掌の権利と労働条件、団結の破壊に利用することは明らかです。

ワンマン化・車掌削減を認めることはできません。攻撃を打ちやぶるのは職場からの闘いと労働組合の力です。現場からの声と行動、団結の力は決して小さくありません。闘う労働組合を職場に取り戻そう。